会派行政視察報告書

令和　元年１１月２０日

長浜市議会議長　　様

長浜市議会議員　吉田　豊 [redacted]

私が出席した次の会派行政視察の結果について報告します。

記

１、視察等名　　令和元年度会派行政視察研修

２、視察期間　　令和元年　１１月　１３日（水）

３、視察場所及び目的　　兵庫県たつの市　たつの市議会

①　たつの市の観光施策

②　赤とんぼの母碧川かたを朝ドラの主人公にする運動について

４、調査内容感想等

たつの市は兵庫県南西部の西播磨地域に位置しており、南北に細長い地形になっています。北側は山地が広がり、南は瀬戸内海に面しておりその中を揖保川が流れる自然環境に恵まれた地域です。

その歴史は古く、「播磨の小京都」と言われ、歴史的資源も豊富に有しています。

平成１７年に、龍野市、新宮町、揖保川町、御津町の１市３町が合併し人口約８万３千人の「たつの市」になりました。この地域は、古くから山陽道、筑紫大道、揖保川の水運などの交通の要衝として発展し、山陽自動車道、国道２号、２９号、１７９号、２５０号、JR 山陽本線、姫新線といった交通軸が集中する地域となっており、交通機能を介した広域なつながりと広がりを有する地域です。

産業はこの地の風土が生み出した手延素麺、醤油醸造、皮革産業、かばん産業といった地場産業が根付く一方で、ハイテク産業や電気産業も発展しています。又、特色ある農業も盛んです。

① たつの市の観光施策について

産業部観光振興課の神尾課長と奥澤主幹によりご説明いただいた。
観光客の推移兵庫県観光客動態調査によると、ここ５年間で、平成２８年の２２０万人をピークに、平均２００万人で推移している。
居住地別で県内客１３０万人、県多客７０万人である。
観光誘客、着地型観光の振興と魅力の発信として
① たつの観光プロモーション事業（歴史的な古い町並みや自然環境を活かし誘致促進を図る体験型事業）②たつの魅力発信事業（市のイメージキャラクターとともに戦略的に情報発信し、交流人口の増加を図る。）③海観光資源体験事業（豊かな自然、文化と人々の交流を図る体験型事業で、観光資源の魅力発信を図る）④たつの市 PR 事業（地場産品、特産品を PR するための観光プロモーション活動で産業振興、観光誘客を図る）⑤ぐるっと観光アクティビティ事業（市町の魅力を広域的かつ効果的に情報発信するために、遊び体験スポット等の検索・予約サイトを導入する）又、観光地整備、観光資源のブランド化と環境整備として
「食からスタート」たつのアッピール事業として地域の食材を生かした新たな「おもてなし料理」をメディアを活用して PR していく事業、又商家町、醸造町等の伝統的建造物群を保存地区として、街並を残すとともに対外的に PR していくとしている。
たつの市は賤ヶ嶽七本槍で勇名をはせた脇坂甚内安治が藩政を治めたことで長浜市とは姉妹都市で似ている所が多い街であり、素晴らしい観光資源もあるが観光施策としては、特に目新しいものがある訳でなく興味をかきたてられるものはなかった。

② 赤とんぼの母碧川かたを朝ドラの主人公にする運動について

たつの市出身の詩人、三木露風は童謡「赤とんぼ」の作詞者で、その母「碧川かた」は大正から昭和にかけて婦人参政権獲得に功労した進歩的な近代女性でした。
そのかたの人生を現在に通じるものとして、学び活かすことが少子高齢化社会、女性活躍社会という生活に密着した課題に求められると考え、NHK 朝の連続テレビ小説の主人公にして放映されることを望み「碧川かたを朝ドラの主人公にする会」が作られている。
現在会員１０００名近くということだがドラマにするだけでなく「碧川

かた」が力を尽くした女性の権利や母として、妻として自立した職業婦人としての生き様を学習しようと様々なジャンルで活動されている。
この様な活動が、地域コミュニティを高め、市民の思いとして一丸となっていく事がすばらしいと感じた。